



いじめってなんだろう？

いじめ防止対策推進法では、「いじめ」を次のように定義しています。

「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係のある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

さらに、文部科学省資料（[いじめの定義の変遷](#)）の中では次のようにも述べられています。

「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮のうえで、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応を取ることが必要である。

こどもたちにとって、学校と家庭での過ごし方は全く異なります。ご家庭は、少人数で異年齢の集まりとなるため、例えばこどもたちが一方的に話をしても、聞いてもらえる・聞き入れてもらえることも多くなります。学校は同年齢の集団生活であり、こども同士が対等な立場でかわるため、家庭で過ごす感覚で友達に接しているとトラブルになることも出てきます。こどもたちはこの同年齢の集団の中だからこそ、他者とのかわり方や考え方・感じ方の違いを学ぶことができます。間違いもたくさんしますが、それらの経験から、やっていいこと・悪いことを学び、自分も相手も不快にならない、相手を尊重した付き合い方を習得していきます。

一方で、「いやなことをされた・言われた」という訴えについて、やってしまった側の子に話を聞いてみると、「自分では遊びのつもりだった」「相手も遊んでいる（楽しんでいる）」と思っていた」ということも起こります。いじめの定義では、「対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じていればいじめ」に該当しますので、「自分は〇〇のつもりだった」は通用しません。相手の気持ちを推察する力がまだまだ不十分なこども達には、ここのラインが分かりにくく、丁寧に説明する必要があります。

そこで、2学期の始業式の日、生徒指導主任が「いじめってなんだろう？」について、次のスライドを活用して全児童に話をしました（一部抜粋）。

はじめに 「いじめ」はぜったいにゆるされません。	かんがえよう 「いじめ」ってどんなこと？	かんがえよう ばめん① これって「いじめ」かな？ かして！ かっさにえんぴつを	かんがえよう ばめん② これって「いじめ」かな？ ふでをもち上げてたが、すぐにかえた
かんがえよう ばめん③ これって「いじめ」かな？ げこうのときに、いっしょにたのびたいって	かんがえよう ばめん④ これって「いじめ」かな？ はやく、だしてよ！ ていせつぶつ、チェック	しろろ されたひとが 「いやだ」とおもうこと	しろろ これはすべて「いじめ」です。

学校生活で起こりがちな事象をもとに、こどもたちに「いじめかどうか」考えてもらいました。人によって、「いやだ」と感じるラインが異なるので、同じ事柄でも、本当にお互いに遊びであると感じていることもありますし一方が「いやだ」と感じていることもあります。難しいですが、「こういうことをしたら（言ったら）いやな思いをさせちゃうかな？」と一度、立ち止まって考えられる力を育てたいと思っています。



ご家庭でも、友達とのトラブルについてこどもたちが話すことがあると思います。こどもは他者の気持ちを想像したり、自分の言動を客観的に見つめなおしたりすることが不得手なため、話が自分寄りになっていることがよくあります。こどもの気持ちに共感しつつ、話す内容については「相手の子の言い分もあるだろうし、話していることと違う部分もあるかもなあ。」と、冷静にお聞きくださいますようお願いいたします。ご心配なことがあれば学校にご相談ください。

夏休み中、行ったことの一部を紹介します

まず、夏休みに入ってすぐ、校内の大掃除をしました。使うもの、修理するもの、処分するもの・・・などにわけ、より使いやすいよう棚を移動し、整理整頓しました。処分するものも多く、不燃物・可燃物をそれぞれトラックで運搬しました。

夏休み後半には、3日間の教職員研修を行いました。

・藤小の教員が講師となって行った研修

生徒指導研修、特別支援教育・通級指導教室研修、心と体の健康観察分析研修、不登校対策研修、教育課程説明会報告、倫理確立委員会、学校課題研究、学力向上委員会

・外部から講師をお招きして行った研修

WISC研修（鶴ヶ島市立教育センター カウンセラー）

倫理確立委員会（鶴ヶ島市教育委員会）

藤中・鶴二小・藤小3校合同研修会（「講義題：特別ではない特別支援教育」元教員）

算数障害とその対応方法についての研修（松本大学 先生）

【WISC研修会の様子】

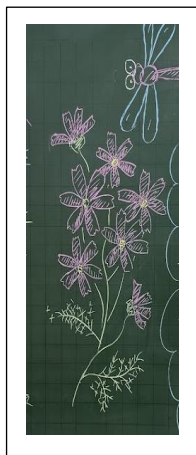
【倫理確立委員会の様子】

【算数障害とその対応方法について学んでいる研修のようす】

2 学期始業式の黒板の一部を紹介します

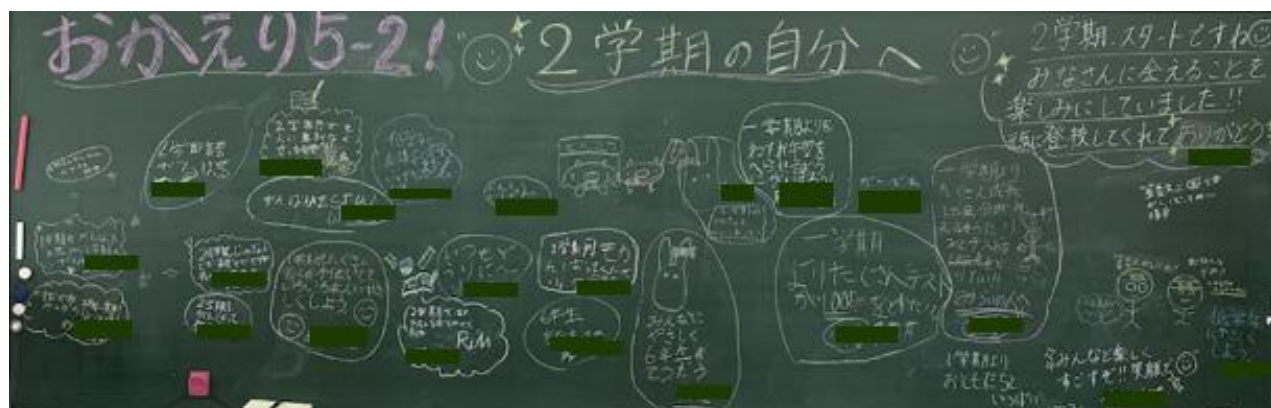
始業式、教員はたくさんの思いを抱いてこどもたちを迎えます。「会いたかった」「元気かな?」「不安になっていないかな?」「笑顔を見たいな」・・・その思いの伝え方はさまざまですが、黒板を使って伝える教員もいます。力作をご覧ください。

※この方法がベストというわけではありません。それぞれの教員が、自分の強みや得意なことをいかした伝え方をしています。校長として、それぞれに合った方法が一番良いと考えています。

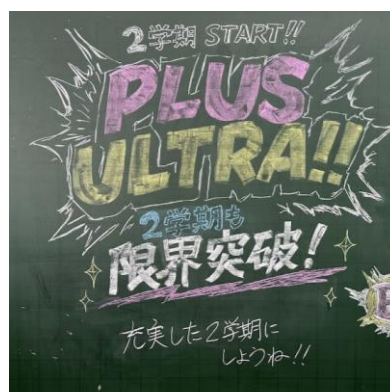


おはようございます。
ふして、おかえりなさい!
1学期をがんばったみなさんは
また1つ「進化」しました。
2学期には、たくさんのぎょうじが
あります。たくさんチャレンジして、
たくさんわらって、さらに進化して
いきましょ! 2学期もよろしくね!

おはよう
夏休みは楽しい思い出が
たくさんつくれたかな?
先生は、みんなに会える
のをとても楽しみにしています。
2学期からまたみんなが
協力してがんばろうね!



おはようございます!
みんなスリッリ!
楽しかった夏の思い出を
またたくさん聞かせてね!
さて、今日から2学期!
運動会に修学旅行と
行事も盛りだくさん!
チームえんじ、チーム三組で
たくさん笑い合おう!
今日からまた、よろしくね!



3年2組のみんな
今日から2学期のスタートです。
みんなー!!おかえりなさい!!夏休みはリフレッシュできたかな?
2学期は、運動会や校外学習など、イベントもりたくさんです。
2学期は今よりもバリエーションが広がるように、30人(24人+先生)全員で、
今日からまたがんばっていきましょう。

おはようございます
夏休みはどのくらい
楽しかったか。
夏らしいことはアツ
きましたか。
2学期は行事が
たくさんあります。
一人一人の活躍が
とても楽しみです。